

■ (5) 記事も勉強も最初が肝心！

9月で終わったNHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」。舞台となった東京・調布は週末の行楽客が目に見えて増えた。私の自宅前の道路は今もひんぱんに渋滞する。その主人公の長女は小学校の新任先生に。新学期は授業の準備や学級通信作りがんばっていた。

まさに「最初が肝心」で、新聞の読み方も同じだ。紙面には文字がびっしりで、平均的な朝刊には約17万字ある。ほぼ文庫本1冊分だ。ちなみに全記者が1日に書く原稿は約127万字とされ、残念ながら「没(=ゴミ箱行き)」になってしまう原稿も多い。

そんな膨大な文字は読み切れない、と尻込みする必要はない。カギは「逆三角形」。一般的に記事は重要な内容から順に書く。つまり、最初の段落さえ読めば言いたいことは分かる。まずは気になる見出しの記事の頭だけでもOK！ 余裕があれば読み進めばいい。

さて、「ゲゲゲの女房」は低視聴率でスタートしながらも、徐々に人気が出て、最後は人気番組になった。一見してとっつきにくい子も、つきあってみたらいい子だと理解できることがある。そんな教育者の優しい目でぜひ、新聞ともつきあってみて下さい。(山)